

II 電子マネーの保有・利用状況

1 電子マネー^{※1}保有世帯の割合は過去最高

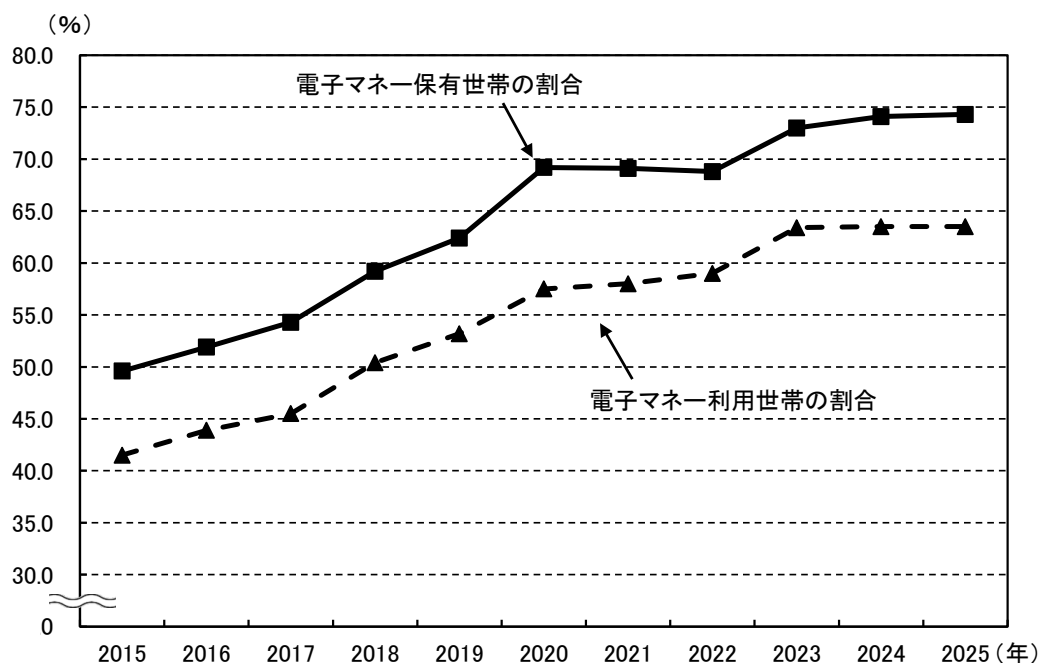
2025年の二人以上の世帯における電子マネーを保有している世帯員がいる世帯（以下「電子マネー保有世帯」という。）の割合は74.3%と、前年に比べ0.2ポイントの上昇となり、過去最高となった。

また、電子マネーを利用した世帯員がいる世帯（以下「電子マネー利用世帯」という。）の割合^{※2}は63.5%と、過去最高だった前年と同率だった（表II-1、図II-1）。

表II-1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）

年次	電子マネー 保有世帯(%)	電子マネー 利用世帯(%)
2015年	49.6	41.5
2016	51.9	43.9
2017	54.3	45.5
2018	59.2	50.4
2019	62.4	53.2
2020	69.2	57.5
2021	69.1	58.0
2022	68.8	59.0
2023	73.0	63.4
2024	74.1	63.5
2025	74.3	63.5

図II-1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）



※1 この調査での「電子マネー」とは、事前に現金と引換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカードなど（次の例を参照）をいう。

例) Suica、ICOCA、PASMO、nanaco、WAON、楽天Edy、WebMoney、BitCash、クオカード、Amazonギフト券、au PAY、PayPay（チャージ利用分のみ）など

なお、デビットカードや、クレジットカードのような後払い方式の決済サービスは含まない。

また、図書カードなどのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカード等も含まない。

※2 この調査では、月次で1か月間の電子マネー利用世帯割合を調査しており、年次の結果は1～12月の月別結果の単純平均である。

2 電子マネー利用世帯の割合は、世帯主が50歳代の世帯で最も高い

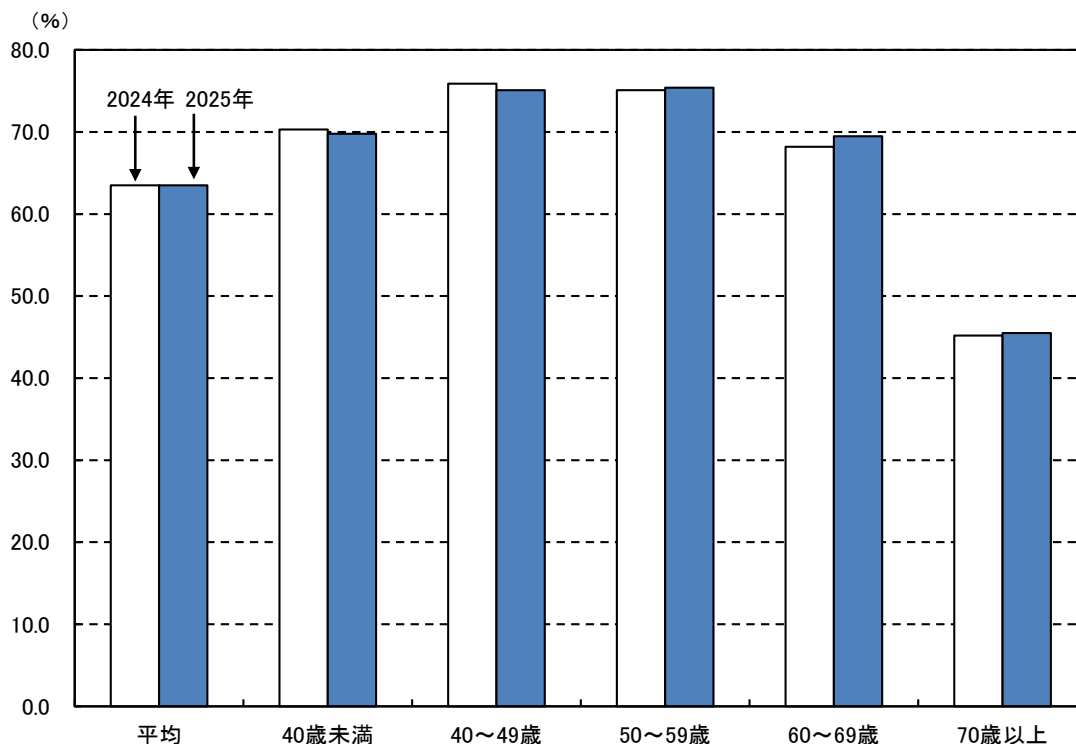
2025年の二人以上の世帯における電子マネー利用世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が75.4%と最も高く、次いで40～49歳（75.1%）、40歳未満（69.8%）などとなった。

前年と比べてみると、60～69歳が1.3ポイントの上昇、次いで50～59歳及び70歳以上が0.3ポイントの上昇となった。一方、40～49歳が0.8ポイントの下落、40歳未満が0.5ポイントの下落となった（表Ⅱ-2、図Ⅱ-2）。

表Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
割合(%)						
2024年	63.5	70.3	75.9	75.1	68.2	45.2
2025年	63.5	69.8	75.1	75.4	69.5	45.5
対前年増減(ポイント)						
2025年	0.0	-0.5	-0.8	0.3	1.3	0.3

図Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合（二人以上の世帯）



3 電子マネー利用金額は過去最多

2025年の電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における電子マネーの利用金額は、1か月平均33,933円で過去最多となった。前年と比べると、名目6.1%の増加となり、これは物価上昇分*を上回る結果となっている。

内訳の推移をみると、2025年の鉄道及びバスの利用金額は1か月平均4,593円と、前年に比べ7.1%の増加となった。

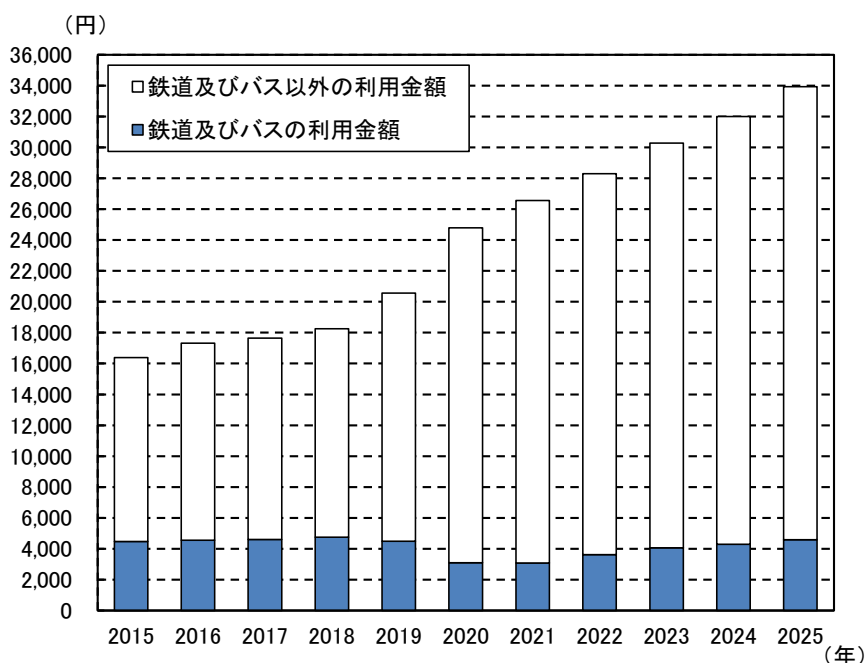
また、鉄道及びバス以外の利用金額の増加傾向が続いており、2025年は、鉄道及びバス以外の利用金額は1か月平均29,340円と、前年に比べ5.9%の増加となった（表Ⅱ-3、図Ⅱ-3）。

※「消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）」の2025年の前年比は+3.7%

表Ⅱ-3 電子マネー利用世帯の1か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）

年次	平均利用金額(円)	鉄道及びバスの利用金額(円)	鉄道及びバス以外の利用金額(円)	平均利用金額に占める鉄道及びバスの利用金額割合(%)
2015年	16,382	4,468	11,914	27.3
2016	17,318	4,553	12,765	26.3
2017	17,644	4,603	13,041	26.1
2018	18,256	4,746	13,510	26.0
2019	20,567	4,487	16,080	21.8
2020	24,790	3,098	21,692	12.5
2021	26,568	3,088	23,480	11.6
2022	28,295	3,627	24,668	12.8
2023	30,282	4,059	26,223	13.4
2024	31,997	4,290	27,707	13.4
2025	33,933	4,593	29,340	13.5
2025年の対前年 名目増減率(%) 及び対前年増減 (ポイント)	6.1	7.1	5.9	0.1

図Ⅱ-3 電子マネー利用世帯の1か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）



4 電子マネー利用金額は、世帯主が50歳代の世帯で最も増加率が高い

2025年の電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における電子マネーの利用金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が1か月平均36,532円で最も多く、次いで40～49歳（35,282円）、60～69歳（35,106円）などとなった。

前年と比べてみると、50～59歳が7.7%の増加、次いで60～69歳が7.1%の増加となるなど、40歳未満を除く年齢階級で増加となった（表Ⅱ-4、図Ⅱ-4）。

表Ⅱ-4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2024年	31,997	30,535	33,701	33,905	32,771	28,319
2025年	33,933	30,306	35,282	36,532	35,106	30,268
対前年名目増減率(%)						
2025年	6.1	-0.7	4.7	7.7	7.1	6.9

図Ⅱ-4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

